

せぶんがりクエスト短編集

せぶんがり
vol.04

— 成人向け —
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止

初めまして。早速ですがリクエストさせていただきます。

内容は喫茶店を営む人妻さんが大家さんに調教され寝取られる。という内容です。

夫婦で喫茶店を営んでおり奥さん

「名前文恵(ふみえ)バスト100cmオーバーの爆乳の持ち主」が

美人で地元ではそこそこ有名なお店ではあるものの

昨今の流行病のせいですっかり客足が途絶え経営が悪化。

日々少ない利益での生活と店を開店したときに組んだローンの支払いに

悩まされていたが店舗の家賃は先代の大家さんの計らいで

格安で済んでたためなんとかやりくりができていた。

ところが大家が先代の孫(独身の30代小太りのオタク風)へと

引き継がれると家賃の大幅値上げを要求。

当然抗議はするものの払えないのなら出ていけと言われそれを聞いた夫が

やっとの思いで開店した店を手放したくないと悲願すると

新しい大家さんが「文恵さんを昼間家政婦として家に来て身の回りの世話を

してくれるのなら家賃は以前のままでよい」と提示。

人柄がよかった先代の大家さんの身内だからという考えから夫は快諾。

文恵は引っかかるような思いがあったものの賛同。

家政婦として大家の自宅に行くと大家の真の狙いは文恵自身で以前から

好意抱いていたことを告げられ肉体関係(最終的に文恵ママの

特大ミルクタンクからミルクが飲みたいと言い)を迫られる。

最初は激怒し断るもののローンの支払いに苦しんでる。

頼る当てがないなど弱みを把握されてしまっており「絶対に避妊はする」

「誰にも言わない」という条件のもと渋々承諾。そして文恵は連日大家のセクハラや

性処理などの奉仕をさせられていく中次第に肉欲に溺れていくのであった。

以下入れてほしい内容です。

ディープキス、パイズリ、授乳手コキ、乳搾り(母乳なし)

正常位セックス(ゴムあり)マンコにバイブ挿入されながら

アナルセックス(ゴム無し)全体的に文恵は反抗的、イヤイヤながら仕方なく

やってる感じです。以上です。長文になりましたがよろしくお願いします。

爆乳人妻が弱みを握られ 家政婦兼性処理要員にされる



投稿日:2022年9月17日

「文恵 今日からだっけ
本当にごめんな
苦勞掛けて」

「いいのよ♡
今までも2人で
乗り越えてきたじゃない」

「だからそんな顔しないで
あなた♡」

小さな町で
小さなカフェを経営する
それが彼の
…二人の夢だった

「それじゃ気を付けて」
「うん♡
いつてくるね♡」

3年前
夫は独立し
遂に二人のカフェを
ここにオープンした
…けど

チュ♡

昨今の外食産業の
不況に例外なく
私たちのカフェも
その煽りを受けた

今まで私たちが
少ない利益の中でも
なんとかやって
これたのは
大家さんのお陰だった

夫の恩人で
店舗の家賃を
ほとんど無償に
してくれていた

でもその大家さんが
亡くなり
ビルを大家さんの孫が
相続すると
家賃を通常の値段に
戻すと告げられた…
到底支払える
金額でもなく…

かといって
ようやく手に入れた
二人のカフェを
手放すことも出来ず
私たちは
新しい大家の出した
条件…を呑むことにした

「待ってたよ
文恵さん♡」

「ちよつと
…止めなさいっ!!!」

「うん♡すっぴい柔らかさ♡
この爆乳を二度揉みしだき
たかっただよね♡」

「ちよっと!!
セクハラよ!!」

最悪だ:
あの先代の大家さんの
身内だから
変なことは無いと
夫が言っていたけど...

まさかこんな
ヤツだったなんて...

「毎日家に来て
身の回りの世話をする...
それが家賃を
そのままにしてくれる
条件だったでしょ」

「フフ...これも立派な
お世話でしょ♡
それにいいの?♡
断れば家賃あげちゃうよ?♡」

「なっ...卑怯よ...」

「改装費だって
相当掛かってるでしょ?
固定費がかさむと
ローンの返済も
厳しいかもねw
このままじゃ...」

「旦那さんのカフェ
つぶれちゃう
かもよ?w」

ここまで頑張ってきて
ようやくオープン
できた二人の店...

「ここで私が断れば
...全部台無し」

「わっわかった...
でもこのこと...
夫には言わないで...」

「おっ♡交渉成立だね♡
じゃあその胸...
自分で出してみよ♡」

悔しい:
こんな奴の
言いなりになるなんて
でも...今の私には
こうすることしか
...出来ない

「うひょお♡文恵ママの
特大ミルククタク♡
今日から僕のモノだ♡」

「文恵ママって...」

ブルン

「ああいいからっ
じゃあまずはそのおっぱいで
お世話して貰おうかな♡」

「...これであってるの?」

「おおお♡すっごい乳圧♡
ってもしかして

パイズリしたことないの?w」

「ないわよ...こんな卑猥なこと...」

「え、旦那さん勿体なっw
このおっぱいで

パイズリ仕込んでないとかw」

「だっ...旦那はアナタと違って
真面目だし私を

大切にしてくれてるからよっ!!」

「フフ、眺みながらの
パイズリもいいね♡
もっとおっぱい全部使って...
そうそう♡上手い上手い♡」

人のカラダを
欲望を満たす
道具みたい...
本当に

「あああ...もう出るよ
文恵ママ♡♡
そのまま続けてっ」

サイアクな男

「ふう、最高っ♡
じゃあ次は
中も味見させてね♡」

「えっ...一回出したら
終わりなんじゃ...」

「旦那さんと一緒に
しないでよw
ほらベッド行って」

「待って!!お願い!!
避妊はして...」

「もうしょうがないなw
まあでも」



ギシ

「ゴムハメは
オツケーってことね♡」

ちがっ
あ
あ
あ

ズ
ズ
ズ

ズ
ズ
ズ

ちよっ…なにこれ…
夫とサイズが

全然違う…

あ
あ
あ

あ
あ
あ

「今日から毎日昼間は
僕の部屋に『お世話』
しにくるんだよ?」

「作法も手取り足取り
…教えてあげるからね♡」

「文恵ママ♡」

それからのことは
あまり覚えていない…

あの日から毎日マイツの
『お世話』をすることが
私の仕事になった…

「文恵?」

「大丈夫? 顔色悪いよ?」

「えっ?」

「うん…大丈夫
…少し考え事
してただけだから」

「上の大家さんのトコ」
「上手くやれてる?」

「うっうん
…問題ないよ?」

「ホントに?
…通い始めてから
元気ないような
気がするけど」

あの日から毎日…
夫には言えないことを
上の階でしている…

あの日から毎日…

夫には言えないことを
上の階でしている…





あーっ

夫とはしたことの無い
変態的なプレイを
色々仕込まれて...

胸を使って遊ばれて...

でもそれも全部
夫と夫の店の為

私が耐えれば
全部上手くいくこと

二人の夢の為に
必要なことだから...

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

グニャン

スズ

スズ

スズ

あーっ

あーっ

あーっ

「それじゃ
...イってくるね?♥」

「ゴメンなさいアナタ...
裏切っているつもりは
ない...けど...」

「そういうわけで♥
文恵さん借りてきますね
多分夜には
お返ししますんでw」

「今日もきつと...いっぱい
変なことされちゃう...♥」

カラニカラニ

「いらっしやいあれ?
大家さん、珍しいですね...」

「こんちやわ、
そろそろ文恵さん
良いですかね?」

「今日も...
その時間が来た...」

「夫の為に
私がこなさなければならぬ...
サイアクな時間...♥」

「ああ...すみません
ウチの文恵は
ちよつと体調が...」

「あなた...大丈夫よ
ホントにちよつと
疲れてるだけだから...」



「特製ホルスタインメイド服」

「うん♡似合ってるね♡」

「こっ…こんな格好
しなきゃダメなの？」

「勿論♡あとはこの
ミルクタンクからミルクが
飲めれば完璧
なんだけどね♡」

「それって…母乳っ…」

ちゅっ♡

あん♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

くっ♡

「フフ…
出せるように
してあげるからね…
そのうち♡♡」

「お世話…どう名目で…
私は夫が真面目に
働いている間…
コイツ好みの
メスに変えられていく
本当はもっと
拒絶していた
はずなのに…」

「じゃあメイドさんらしく
おねだりして見せて？♡」

「ふ…文恵の…
人妻ま●こに…
ご主人様の
肉棒突っ込んで…♡
今日もご指導
…お願いします♡」

「ふ…
ご主人様の
肉棒突っ込んで…♡
今日もご指導
…お願いします♡」

むわあぁー♡

いつの間にか…
コイツとの
行為への嫌悪感は
少しだけ
薄れてきてきた…

「フフ…
良く出来ました♡」

「ご褒美あげようね
…文恵ママ♡」

「うっ♡
…それ…パイプじゃ…」

「そっだね♡
ご主人様の肉棒は…」

「マじっちに
挿れてあげる♡」

グッホッ

まほ
おぎ
おぎ
おぎ
おぎ

「たのびり
指導して
あげるからね♡」

自分がとんでもないことを
してしまっているのは分かる

「初ケツハメで
お潮吹いちやういけない
人妻メイドには」

「前からキレイにしておいて
良かったでしょ？」

…だけどコイツとの
セックスが始まっちゃうと…

圧倒的すぎて
何も考えられなく
なっちゃっ♡♡♡

ドクン

ハッ

「ほら♡文恵ママ♡
鳴いてないで
どことが気持ちいいか
言ってくらん?♡」

「ケツ穴ほじりとか…♡
ママ♡パイプ同時責め…♡
気持ちいいですううう♡♡♡」

「いい子いい子
従順になってきたね♡」

「それじゃあいい子の
文恵ママのケツ穴に…」

「ザーメンプレゼント♡
いっぱい受け取るんだよう♡」

ドクン

「ふう〜まだまだ出し足りないよ♡
今日は泊まって行きなよ♡
朝まで可愛がってあげるからな♡」

「流石に…泊りは…
夫にバレちゃう…」

「いう事聞けないと
どうなるかわかってる?♡
ここで朝までセックスするのモ
旦那さんの為だよ♡」

「わ…分かったあ♡
いうこと聞くからあ♡
夫には絶対秘密にして…♡」

「わかってるって♡
旦那さんとじゃ出来ないこと
いっぱいして帰ろうね♡文恵ママ♡」

「ゴメンなさいあなた…
今は従順なフリを
してるだけだから…♡」

びゅん

びゅん

びゅん

びゅん

朝には…
元に戻る…♡♡♡

いつも素晴らしいイラストを楽しんで拝見させていただいています。
よろしければミニスカポリスが快樂墮ちする話のリクエストお願いします。

・キャラ

水無月かぐや(22)新人一年目、交番勤務

清楚お嬢様系の爆乳ミニスカポリス

基本は制服(制帽&水色のシャツ&紺のタイトミニスカート)

背は低め。黒髪で腰まで届くロングヘア。前髪ぱつぱん。

胸はKカップもありシャツは常にパツパツ。

いわゆる大和撫子系でクソ真面目、生まれた時からオナニーすら
したことがない。

おっとりな上にド天然でもあり、歩くだけで爆乳がブルブル揺れて
男の視線を集めまくっていることにも気づいていない。

性知識はほぼ0だが性感は異常に高く乳首も大きい。

・話の流れ

「こら！あなたたち、まだ高校生でしょ！」と不良たちに注意したら
強●されて即墮ち。

・主なプレイ内容と言ってほしい台詞

①背後からシャツの上から爆乳を揉みしだかれていきなり絶頂。

初めて性感というものを知る。

②制服のボタンとブラを外して半裸で生ハメ。

オホ声を上げて全力絶頂。不良のスマホカメラに向かって

「ザコメスの分際で先程は説教なんかしてごめんなさい」と

謝罪&「あなたたちの奴隷になるので許してください」の宣言&中出し。

③ここからもう完墮ち状態。

自前の手錠で柱に拘束され、警棒を突っ込まれながらガニ股で

チン媚びダンスの焦らしプレイ。乳首ピアスとクリトリスに鈴。

「警棒なんかいらない、チンポが欲しい」のおねだり発言。

④夜間に裸で散歩。制帽と首輪&リードと乳首ピアス、尻に犬の尻尾バイブ。

後背位で突かれながら犬の鳴き真似をして電柱に放尿。ご褒美に中出し。

不良「この電柱にマーキングしてここに警察がいるってちゃんと

犯罪者たちにアピールするんだぞ、『"雌犬"のおまわりさん』」

⑤ラストシーンは制服の下にエロ下着や「違背警官」等の大量の落書き、

乳首ピアス、コンドームとバイブ&ローターをつけながら

交番に出勤して上司に敬礼しているシーンで終わらせてください。

「おはようございます！」と言いながらも頭の中は

パトロールに行くフリをして不良とセックスすることはいっぱい。

長くなりましたがよろしくお願いします。

不良の餌食になった新人爆乳婦警



投稿日:2022年10月16日

水無月かぐや (22)

「おはよう
しつらあさっ...」

「水無月かぐや
本日も行って参ります!!」

街の皆様の
平和と安全を守ることに
それが私達
警察官の務めです

責任あるこのお仕事に
就かせていただいて
私は今とても幸せです

ですが...
警察官に仕事があるという事は
治安を脅かす方々が
沢山いらっしやることと同義...

日々のパトロールは
犯罪やそれに準ずる行為を
取り締まるための大切な
職務です

「しつらっ!!
あなたたち!!」

カッ

『こんな時間まで
出歩いて…それに
そんなものまで飲んで!』

どんなに屈強そうな男に対して
警察官は毅然とした態度で
接しなければなりません

『今すぐおうちに
帰りなさい!
これは命令よ!』

それが私が憧れた…
私があるべき
警察官の姿なのです

『<<<<W何だ!>>>>W
ちよっとあなたたち…』
『そんなんじや犯罪者
取り締まれませんよ』
『婦警さんW』

『ちよっとあなたたち…』
『本当!』と談じやすまなひわよ
『こんなこと許されるわけ!』

迂闊でした…
最初は素直な素振りですべて従っていたのに…
家はこつちだからとまんまと
人気のない所に誘導されて

市民の安全を守る者として…
このような方達を
野放しにしてはおけませんっ…
けど…:こんな私一人じゃ絶対!
振りほどけないっ…

『こんな状態でまだ命令回調?W
自分の立場分かってねえのか?』

『おいWさっさと脱がせろW
』イックソ胸でっけえぞW』
『ちよっと!!それは流石に…!』

「フハハハWW
デカすぎたるWW
すっげえWW」

「こんなんぶら下げて
公務員は無理だろW」

「取り締まるどころか
本人が誘っちゃってるの
ウケるなW」

「やああ…」

「はっ放しなさい…
今ならまだ…
許してあげますから…」

「はっ放しなさい…」

「許してもらっつのは
お前の方だろ?!W」

「うっ…ウソ…
な…何ですか?!
今のは?!
全身がビリビリして…」

「フハハハW
乳首でイったぞコイツW」

「何?お姉さん
セックスしたことねえの?W」

「じゃあ俺らが
叩き込んでやるよ」

「雑魚メスは
どんなに抗おうとしても
男には勝てないって
ことをなW」

「初めて向けられる…男の人からの
性的な興奮と暴力…」

「逃げなきゃいけないのに
それを許してくれない
太い腕に組み伏せられて…私は…」

「〆〆wwやっぱコイツ処女だったわww」

「こんな体で良く今まで処女だったなw」

「ほらお巡りさん

おちんち●入れられちゃってますよww 捕まえなくていいんですかww」

人生の初めてを：

名前も知らない男に 奪われてしまいました：

ズル

ズル

グズ

ズル

グズ

うん、あ

あ

「街を守るなきや いけねえヤツが ハメ穴完備してんのマジウケるww」

「氷無月かぐやちゃんww カメラに向かって 人生初セックスの 感想お願いしますw」



「貴方達：絶対許しません!!! 逃げられると思わないで下さい!!!」

悔しい…こんな暴力で 尊厳を無理矢理奪われて…でも…」

「んwwまだ自覚が 足りねえみたいだなw」

「お前こそ 逃げられると思うなよ? これからみっちり チ●ボ漬けにして やつからなw」

「おっwww…♡♡♡ 深いいい…♡♡♡ それらめえ…♡♡ わかったあ…! 許して…! 許して…!」

産まれて初めて味わう 強烈な性的快楽… 男の人に無理矢理 こじ開けられていく 自分の女としての本能に 私は…



抗えませんでした

「ほらっ
言われた通りに
しろ」

「は33...♡」

「みつ：皆様先程は...
大変失礼いたしました...
雑魚メヌの分際で
皆様に説教などと
出過ぎた真似をしてしまい...
本当に申し訳ございません...」

「わつ私水無月かくやは...
本日付で...みつ皆様のお...」

「皆様の
公衆ハメ穴奴隷に
着任いたしますっ...」

「皆様に不快な思いを
させてしまった分...
全力で...おつ
...オマ●コに奉仕
させて頂きますので...
ごつご指導ご鞭撻の程...
よつよろしく
お願いいたします...ます...」

「アハハWW
はいW良く出来ましたW」
「今後は仕事中でも
俺らに呼び出されたら
すぐ来いよ?」
「少しでも遅れたら
この動画全世界に
ばら撒くからなW」
「...わかりました」

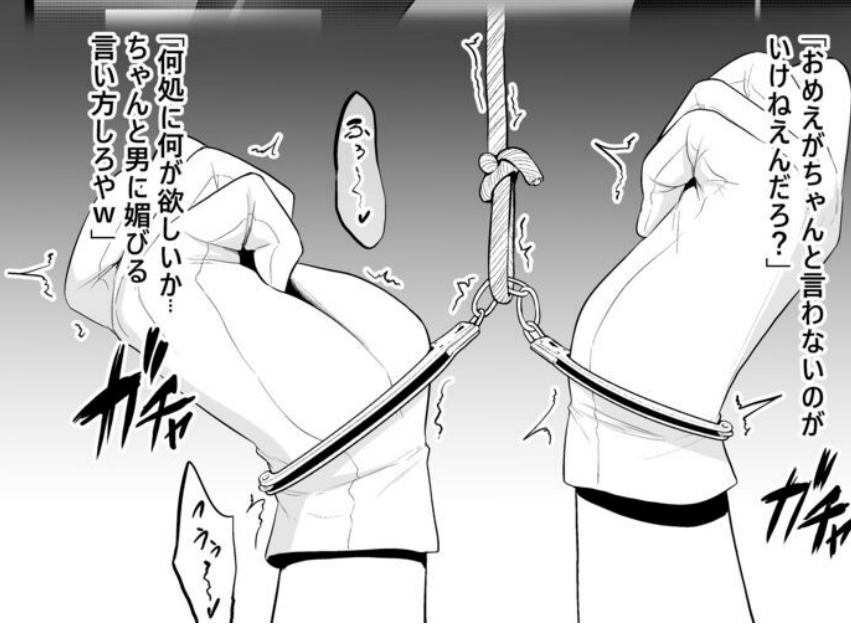
タイムラズプ スロー ビデオ 写真 スクエア

その日から私は...
勤務中でも休日でも関係なく
この方達に呼び出されて...

問答無用で
セックスさせられました...
来る日も来る日も
無理矢理男性器を
ねじ込まれ...
今まで知らなかった
体中の性感帯を探り当てられて...
一カ月もしないうちに私は...
「うぐうう...♡お願いしますっ
これじゃイケない♡」

「アハハWクソ無様だなW」
「おめえがちゃんと言わないのが
いけねえんだろ?」
「うう...」

「何処に何が欲しいか...
ちゃんと男に媚びる
言い方しろやW」



立入禁止

「ほらWさっさと歩けW
早くしねえと
皆起きてきちゃうぞ?W」

首輪を付けられて深夜の住宅街を
オチ●ポと繋がったまま
全裸でお散歩させられました!♥

「うてええ…
おちんち●挿れながら
お散歩なんてええ!♥
こんなの警察官
失格れすう…!♥」

「^^^^W
もうぐぐぐお前は警官…いや
女として墮ちる下!」まで
墮ちてるだろW」

「ほらWハメ潮マキソグするW
近隣住民にちゃんと
アピールしろやW」

「ここにド変態マソメス婦警が
いますよ〜つてなW」

「おいっイクときの
鳴きまねも忘れんなよ?W
変態雌犬おまわりさんW♥」

今まで頑張ってきたものが
崩れ落ちていく感覚と
おま●こに残ったザーメン
とおちん●んの感触
それから
強い男性に命令される
従属感で…

自分でも
びっくりするくらいのお潮を
吹いちゃいました!♥
この時
知ってしまいました…
女として…私は今まで
とても不幸だったと
いうことを

あれから何カ月も
経ちましたが…
まだ職場には
私の「本性」は
バレていません

「おほや
うございますっ!♥」

わあっ
わあっ

今日も朝から…

『水無月かぐや…本日もお
いっぱいっって参ります♡』

あの方達に呼び出されて…
これからパトロールに行くフリして
いっぱい変態セックスして頂きます♡

街の皆様の平和と安全を守る
警察官の務めも大切ですが…

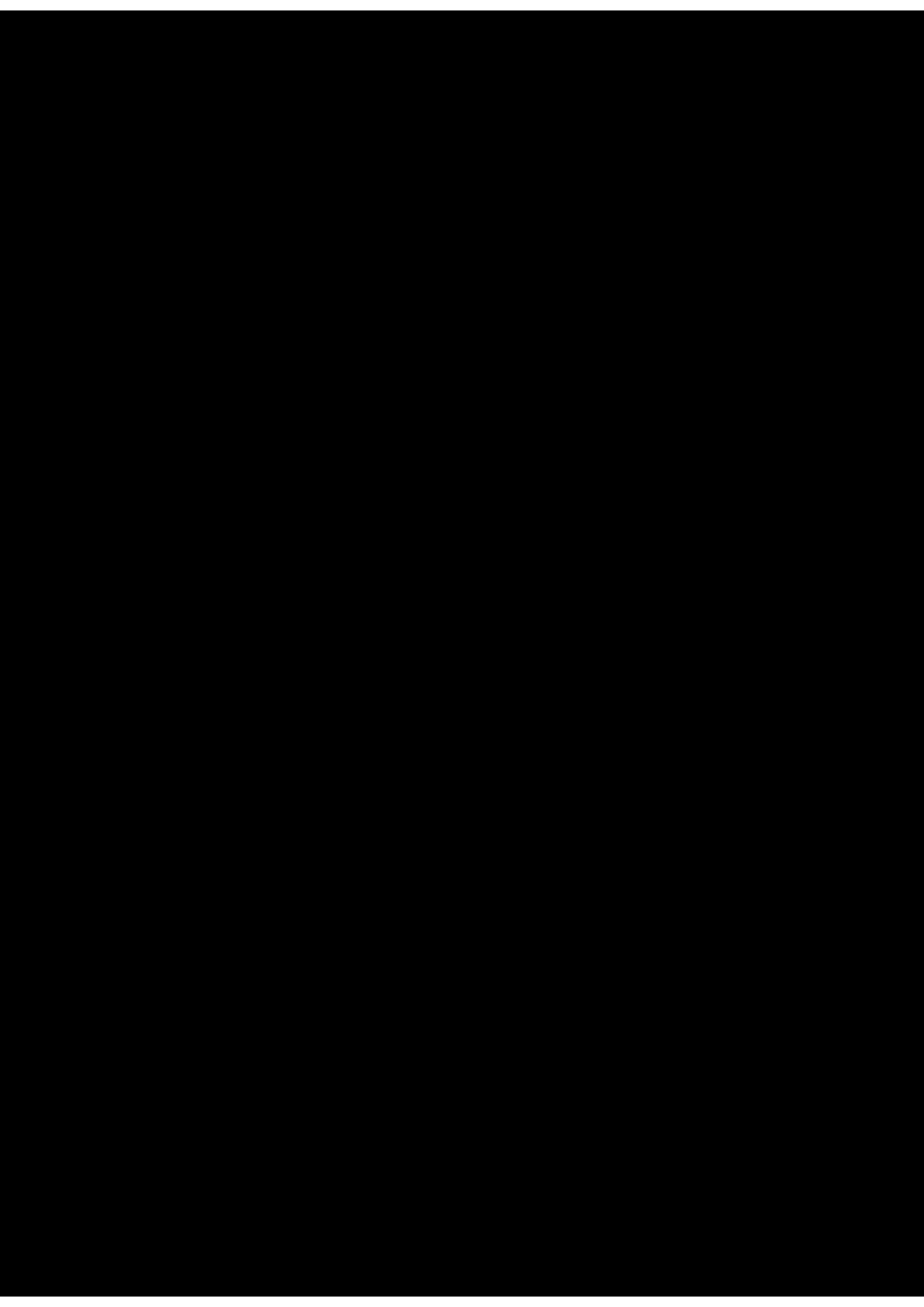
マゾメスとして…
オチ●ポしていただける
あの方達に飼って頂いて…
私は今とても幸せです♡





警 署
千 木 大 好 美
ガコ 乳 首 ↓

公 衆 ザ メ
タ ン ク
↓



はじめまして。先生の作品に惹かれリクエストしました。

・ヒロイン

色白金髪爆乳/日本人と欧州人のハーフ/主人公と幼馴染兼恋人/JD/自分の顔とスタイルに自信/主人公をからかい楽しむ小悪魔系/約1年前に失踪

・主人公

昔から親友だったものの女の体に成長したヒロインにタジタジ/失踪したヒロインを探し続けてる/モテたヒロインは何処かで他の男と幸せにやっているのではと思いつつ、心配をしていた

・竿役

金持ちの御曹司/美人を拉致し、調教することが趣味/小柄なのに巨根で性豪
ヒロインとは、たまたま見かけ、体が気に入ったのとハーフの女性と経験がなかったため犯したくなった程度の関係
ヒロインの調教が終わった記念に主人公に調教記録を送りつける。
はじめは年上の女性に甘える態度をとるが、相手の情けないところが
出始めると嘲り馬鹿にする本性が出る。

・内容

謎の動画(調教記録)が送られ、それを見る主人公

1.調教初日の記録

甘えてくる竿役を罵倒、軽んじるなど強気なヒロイン
拘束状態で竿役の巨根とテクにたっぷりイカされる
恐怖し、主人公に助けを求めるも中出しをキめられ絶頂
主人公は衝撃と憤りと共に、ヒロインの見たことのない乱れ具合から
竿役に自覚しない劣等感を感じる

2.しばらく時期が経った記録

ヒロインが孕みお腹が少し大きくなっている
絶望し、許しを乞うヒロインと態度の変化を馬鹿にしながら調教を続ける竿役
竿役は、安定期に入るまで、今は少し滲み出る程度の母乳をたくさん出せるようにと
ヒロインの大きな乳房を重点的に器具で乳責め
男を手玉にとっていたヒロインが竿役相手に、泣いて絶頂する姿に絶望するも
興奮もしてる主人公

3.最後の記録

臨月のお腹をしたヒロインと調教成果(バストが○cm大きくなったこと、
母乳が止まらずすぐに噴き出してしまふ、どこを責められるのが好きかなど)を
詳細に語る竿役 一通り語った後、激しく犯す
モノ扱いされるヒロインの姿
墮ちるとこまで墮ちた恋人の痴態に今までにないほど股間を膨らませる自分に
嫌悪と無力感を感じる主人公で終わりです。

幼馴染ハーフ彼女の NTR調教完了ビデオレター



投稿日:2022年11月4日

「オ、ハヨっ♡
カズキ!!」

「エリカっ…
お前こんな所でいきなり
抱き着いてくんなんっ!!
それにその…
当たってるって!!」

「え、
この位フツーじゃん?
それとも嫌だったの?
カズキ♡」

「嫌って訳じゃ…
人前だとそういうの
恥ずかしいだろ」

「フッフ
照れ屋さん
なんだから♡」

すお
周防 エリカ (19)

エリカと俺は幼馴染
子供の頃からエリカは
積極的にスキップを取
取ってくる

ハーフである
エリカの家では
割とそれが普通のこと
らしいが

大学生になった今でも
エリカのこの
異様に近い距離間には
慣れないいや
むしろエリカが
大人になるにつれて
俺はドギマギして
しまっている

エリカのことは好きだ
でも幼馴染の関係だと
中々恋愛の話は
切り出しづらい
それにきつと
エリカも俺のことを…

そう思って
具体的な関係には
踏み出さなまま
俺たちは少しづつ
大人になっていった

そんなエリカと
連絡が付かなくなったのは
1年ほど前だった。

まああいつのことだから
どこかで良い男でも見つけて
気ままにやっていると
程度に思っていたが
心にもやもやは
残ったままだった

そんなある日
自宅に1枚の
DVDが送られてきた

俺宛の郵便物に
心当たりはなかったが
興味本位で俺は
それを再生した



ん〜…

づちよ

づちよ

ん〜…

「ほらもつと♡
恋人みたいに
チュウしてよ♡
お姉ちゃん♡」

あられもない姿で
拘束された
エリカの姿だった。

目を疑った…
そこに映じ出されて
いたのは紛れもなく

「ほらほらお姉ちゃん♡
折角撮ってるんだから
もつと笑わないとw」

「アナタ…こんなことして
許されると思ってるの？
あんたみたいな子供
ホントなら組み伏せ
られるんだから！」

「も…怖いなあw
街で見かけたときは
もつと優しそう
だったのにw」

脳の血管が
ドクドクと脈打つのが
分かった。

俺は今
とんでもないものを見ている
そう直感したが俺は…
はじめて見る
エリカの裸に興奮していた

しかしそれ以上に
気になることがある
一体これは
どういう状況なのか？
一緒に写っている子供は
一体どこの誰なのか？
再生した手を動かすことが
出来なかった

「じゃ〜んw
今日からパパに頼んで
手に入れて貰った
新しいお姉ちゃんを
調教していきま〜すw
ハーフでおっぱいも
この通りw」

「ちょっと!!
気安く触らないで!!」

へらへらしながら
自らの体を弄る男を
睨み返し威嚇する
エリカだが…
そんなことは無駄だと
俺でも分かった

「全く…随分うるさいな〜
まあそんだけ騒ぐなら
早速だけど…」

「教育してあげないとね
ボクのおチ●ポで♡」

それまで強気だったエリカの表情が
一瞬で焦りと不安でひきつったのが
分かった。それもそのはずだ
子供のカラダには不釣り合いなほど
大きくゴツゴツした逸物…

一瞬でわかった
ヨイツはこの性器で今まで何人もの
女性を堕してきたんだ…

♡あ♡♡♡

ひっ…

「あれれw
さっきまでの威勢は
どうしたの〜お姉ちゃん♡w」

「中こんなに
キュンキュンさせちゃってw
良い所当たってるの〜♡
ほらここでもじょ?」♡♡♡

身動きが取れず
ただただ女性器を騷られるエリカ…
先程までとは打って変わり
エリカは顔を伏せて涙を浮かべながら…
男の腰使いにあわせて甘い声を漏らす…

♡あ♡♡♡

キリキリ

「あれ? wもしかして
お姉さん彼氏いたの? w
そりゃあ悪いことしちゃったねw」

画面の向こうから
僕の名前を呼ぶエリカの音がする…

その時ようやく実感した。僕は今
好きな人を目の前で犯されているんだ

ずっと一緒に育ってきて
可愛らしくて悪戯好きな
俺の好きな人は…

「うう…カズキカズキい!」

あゝゝゝ

んん

ズン

んんん

おホ

あゝ

おホ

あゝ

見ず知らずのガキに汚されてしまった



「それじゃあ今日から僕のペットになれるようにいっぱい調教してあげるからね♡」
「彼氏のえーとカズキ君？と居るより幸せにしてあげるからね♡」
エリカの女性器から引き抜かれた大きなペニス…絶頂の余韻で全身を痙攣させるエリカ



この後行われる「調教」がどんなものか想像するだけで嫌な汗が止まらなかつたが…
何故か僕はその続きが見たくて画面の前から離れられなかつた…

調教2日目

最初の映像は途切れそこから始まったのは男による悪趣味な調教の日々だった



「ほらほら…イったらまた重り追加しちゃうぞ☆」



男はエリカの乳房に興味があるらしく

調教7日 女性器に玩具を固定され 絶頂するたび乳首に重りをぶら下げられたり!



調教24日目

またある日には母乳を出せるようになって あらゆる器具で乳首を刺激され...

調教71日目

そして調教の間には 男の欲望のままに 中出しを受け入れさせられる DVDにはそんな生活が 何日にも渡って記録されていた

教254日

そして日付は飛び 記録映像の最後!



「よし良いぞエリカ♡ おチ●ポ掃除良くなりました♡」

『あぶらうっ……♡様あ……♡』

『上手に出来ましたからあ……♡
そろそろおち●ホ解禁おねがいしましゅう♡
安定期過ぎたらチニハメって
約束だったじゃないですか♡』

下品な衣装を纏い
物欲しそうな顔で
ち●こに話しかけるエリカ
その体は子供を身籠っている
女性の物だった

日付が飛んだ間に
エリカは妊娠したのだ

『ん、そんな誘いじゃ全然ダメだよ
全くバカな豚だな、
もっと下品な言葉選んで
チン媚び口上しろっつてんだろ？』

『ううっ♡
チニハメ用豚女のエリカの
妊娠マ●こ♡様
バキバキチ●ホ見て
マン汁だらだらなのでえ♡
いっぱいパンパンして
お説教してやってくりゃ♡』

『うんうん♡♡♡♡♡と見ているカズキ君も
ドソ引きだろっねw
そうだ！カズキ君に
エリカお姉ちゃんがどんな風に
変わっちゃったのか紹介してあげるね♡』

『まずはおっぱい♡
最初は97cmのGカップだったけど』

『妊娠&調教の結果
120cmのKカップに
なりましたwしかもほらw
母乳もいっぱい出るんだよw』

かがんだ体勢のまま
乳首を乱暴に捻り上げられると
エリカのだらしなく育った乳房から
噴水のように母乳が飛び散る

家畜の様な扱いを受けているのに
エリカはブルブルと乳を揺らし
母乳をまき散らしながら
悦楽の表情を浮かべる

「ほらーマ○」はどっかを感じるの？
ちやんとカズキ君に実況しながらセックスだろー！バカ豚！！

「はいいいい♡ポルチオおおお♡♡

赤ちゃん入ってるトコの入る口い

様のチンチ○でゴリゴリしゃれるの

しゅきいいい♡あつヤツベえ♡♡

これイグっ久々のポルチオ刺激ヤツッバいっ♡

イグイグ♡♡

イク時はどっすんの？wちやんとやれよ」

「うんうん♡♡

ぶぶよおおおお♡♡♡

ぶほっ♡ぶひよおお♡

様ばんざあーい♡

あくませせていただきまひゅう♡♡

ぶひよおお♡♡

ぶひよおお♡♡

おほおほ♡♡



いっしょ♡
ほん♡

うんうん♡

いっしょ♡
ほん♡

あう♡

うん♡

うん♡

うん♡

うん♡

身重の体にも関わらず
豚の鳴き真似をしながら
母乳と愛液をそこら中にまき散らし
全身運動でち●こを摩擦するエリカ
余程厳しく騎けられたのだろうか
とんでもない醜態をカメラに
収められているのに：
一心不乱に豚の鳴き真似をしながら
絶頂し続けるその姿を見て俺は察した

もっとなに写っている女性は
僕の知っているエリカではない
そこに映っているのは

「うへへwwチ●こ擦るの上手になっだね♡
ご褒美にベッドいごうかw
カズキ君に見せつけながら
いっぱいイかせてあげるからね♡」
「あうう♡」様大ひゃき♡♡
豚マ○で誠心誠意
を奉仕いたしました♡♡

「ほら豚！忘れてるぞw
元カレカズキ君にメッセージ♡」
「はっ♡♡」



おほおほ♡

肉欲に溺れた二匹の雌だった

「カズギで♥見えるかな…ソメ〜ねっ私
もうこの『様のおち○ちん無しじゃ
生ざられない体になっちゃったの♥
だからもう私のことは忘れてね♥」

あゝ♥

はぁ♥
はぁ♥
はぁ♥

はぁ♥

ふっ♥

「あつでもあ…もし私のことを忘れられないなら…
『様宛に感謝の言葉と
続編を送ってもらうようにお願いしてみてね♥
』様だって優しいからあ…
さっさとビデオよりもエッチなの撮って
送って下ると思えばよ♥
それでいいばちんちん♥♡♡♡してね♥」

『それじゃあ
『様のおち○ちんお待たせしちゃってるからあ…
変態中出し交尾続けるね♥』

はぁ♥

はぁ♥

「うへへwwwサイコーだよエリカ♥
まだまだ出せそうだから
このままもう一回挿れようか♥」

『はい♥様あ…♥
お腹の子共々様へ飼って頂けて
とっても嬉しいでしゅう♥
もっといっぱい交尾してしてえ♥♥♥』

好きだった人の変わり果てた姿、
男としての敗北を目の前にして
僕は涙と勃起が止まらなかつた
好きだった！

こうして取り返しのつかなくなる前に
行動していればと思うと
悔しくて悔しくてたまらなかつた！

もう僕にはエリカとの未来は
なくなってしまったんだ

こんな思いをするならあの時
もっと勇気を出していれば
良かったのに

ひゃあひゃあ

そんなことを考えても
もう！

もう何もかも遅すぎた

リクエスト受けてくれると嬉しいです。

もも先輩 続編

以前より乳首が勃起乳首になってる

あらすじ

チン媚ダンスなどをするももだったが、性処理セフレを解任、りゅーくんと過ごすも満足出来ず、先輩に一生性処理雌豚宣言

シチュエーション

・日常に戻ったが、既にりゅーくんも先輩の為に付き合っただけなので別れようか考えている。

性欲を抑えられないももはりゅーくんのH懇願に渋々素股ならいいと申し出を受ける。

素股内容

服を着たまま背面座位(服の中は変態Hの名残でエロ下着・落書き・乳首ピアス)

以前よりも激しい腰振りに即イキ。気持ちよくないももは、罵倒や嫌味を言い機嫌が悪い。

(りゅーくんはももにネックレスをプレゼント)

・性欲を抑えられないももは先輩パンツを被ってオナニー

・その後も性欲を抑えられず、先輩の家へ来て、完全服従の一生性処理雌豚になると宣言する。

(契約書を持っていく。アナルとマンコでハンコを押してる)

服装お任せ 落書き・乳首ピアス・脇毛(今まで生やしてなかった)

・土下座でお尻を頭より高く突き上げさせ、アナルとマンコを開くように指示し、バックでH。

(今までやらなかったアナルプレイなど)

・ぐったりとしながらも、アへ顔ダブルピースで仰向けに寝て、

M字開脚している場面で終わって欲しいです。

落書きには雌豚失格、肉便器と書かれていたりする。

(りゅーくんのネックレスを乳首ネックレスにしている)

ももとりゅーくんが写った写真が落ちており、りゅーくんの部分はマン汁まみれ、

ももの顔は今は見れないキリッとした顔をしている。

(アナル系のおもちゃなど色々お願いします)

欲しいセリフ

・顔とデカ乳だけを取り柄のメスと自分を下げて、オスに完全服従する旨のセリフ

・ももをオナホ代わりでも性処理係でも肉便器でもetc、何でもいいので

一生先輩の女にして欲しい旨のセリフ

・メス臭いや臭そうな脇・マンコ等ももちゃんを罵倒するようなセリフが沢山欲しいです。

色々とお書き頂きましたが、基本的にセフレ解任からの完全堕ちの流れがあれば

気にしません。ももを無様に堕としてください。よろしくお願いします。

(りゅーくんをより馬鹿にする・先輩にももちゃんを罵倒させることに

力を入れてくれると嬉しいです。)

続続続・年上チアリーダーの彼女を 先輩のデカチンに寝取られる



投稿日:2023年1月26日

「おはよう
そのネットクレス付けてくれてるんだ。
嬉しいよ、もも先輩♥」

「そう？
ただ単にこれしかないから
付けてるってだけでだよ」

私とりゅークンは
付き合って1年と半年…
部活も大会が終わり
りゅークンは私をデートに
誘うことが多くなった

「あと…今日こそはその…
お願いできるかな…？
練習もいっぱいしたし…」

練習…
センパイから
私が命令されて
渡したオナホで
早漏を直す練習

センパイの趣味で
やらされてるって
気づかず
まだ続けてたんだ…

正直

りゅークンの誘いには
乗り気じゃなかった

でもこの日の私は…
それでも
少しの期待を持って
誘いに乗ることにした

「あっ…ももお♥それやばい…
自分でするのがと全然違う…!♥」

HOTEL - INN

『動かれるの好きじゃないから…
じっとしててね…
あとあんまり
すぐイかないようにして』

「うっうん…頑張るけど…
これじゃあすぐ…うっうっ」

久々に挿れた リゅークンのチンポ
気持ちいい所に当てようとするけど
全然感触が無い
付き合い始めはあんなに幸せだった
リゅークンとのセックスなのに
今じゃ何も感じない

「あっ…ダメっ!!もう…イっくう…」

『もっ…もうちよっと頑張れない?
まだ私が…』

「あああ…!ゴメンももっ!!」

タダでさえ味気ない挿入感なのに

うっうん
もも
あ
あ
あ

ズッ

ズッ

自分から誘ってきて
これとか…

一回出したらすぐ萎えるし
しかも短小でふにやふにやで
全っ然気持ちよく無い…

本当に私この先
こんなのとしか
セックス出来ないの…?

3カ月前
突然私は
セソパイのセフレを
解任された

「もうお前いいわ
こっちの
新しいセフレ
育てるのが
忙しいからなw
せいぜい
あの粗チンと
仲良々やれやw」

部活の新入生に
セソパイを取られて
私は用済みになった…

それからセソパイは
連絡すら返してくれなくなっで、
でもセソパイに変えられた身体は
ずっと火照りっぱなし
オナニでも鎮められず…

今日のりゅークンとのセックスで
確信した…
私はもう

セソパイ

一生元には戻れないって

「^^ww
同意書も出来たみたいだなw
ちやんと宣言しろよ?」

「はい…♥私笠井ももはあ…
今後オナホ完備のブタとしてえ
センパイに従属することを
誓いますう♥」

「彼女さんや
他のセフレの皆様
ご迷惑かけないように
呼び出されたときにだけ抜きに来る
性欲処理豚になりますのでえ…♥
何番目でもいいので
一生センパイのお傍に
いさせてくださいいい♥」

「^^w良く出来ました♥
お望み通り
今回はコレで
イカせまくってやるよ
豚女♥」

私笠井ももは
一生センパイの
専属性欲処理豚
としてご奉仕する
ことを誓います。
笠井もも

久々に見た
遅しいセンパイのデカチン…♥
頭がクラクラしたのを覚えてる

「じゃあ
仕込んだチン請い土下座からやれww
挿れたくなるようになw」

ほ

ほ

ほ

『ほっ♡ほっ♡おっおまんこあ♡
もものメス穴あ♡
セソパイのぶっどいチンチンで
メチャクチャにしてください♡』

ほっ♡

ほっ♡

ほっ♡

「^^ww
やっぱお前のドスケベ芸いいわww
いいぜw挿れでやるよw」

ああ♡褒められたあ♡
セソパイに女の子失格のドスケベ芸褒められて
感じちやってるう♡

「おらwどうだ？
久々の俺のちんこは♡」

「やっばい♡これ…
気持ちよすぎてえ…
おほおお♡」

「^^ww

何言ってるか分かんねえよw
もっと腰上げるw
おめえが弱いトコ
ポコポコにしてやっからw」

リゅークソには出来ない
支配的なセックス

この時のことは
それ以上ほとんど覚えていない
だって…

おまおまおま

禁欲明けの極太チンポで
気絶しちゃってたから...

それから始まったのは
センパイが悦ぶことは何でもやる
最低のオナホ女としての性活

『お待ちせしました
センパイ専属オナホ豚ももが
今日もいっぱい気持ち良く
しちゃいますっ♡』

ホ

ホ

ホ

ホ

ホ

今まで以上に下品で無様な衣装
りゅーくんからのプレゼントも
エロ衣装用に改造されて

お尻の穴も命令されて自己開発
腋毛の処理も禁止されて
もう完全にセンパイ専用の女

「へへww
ガタ真似も上手くなってきたなw
アレ持ってきたのか？」

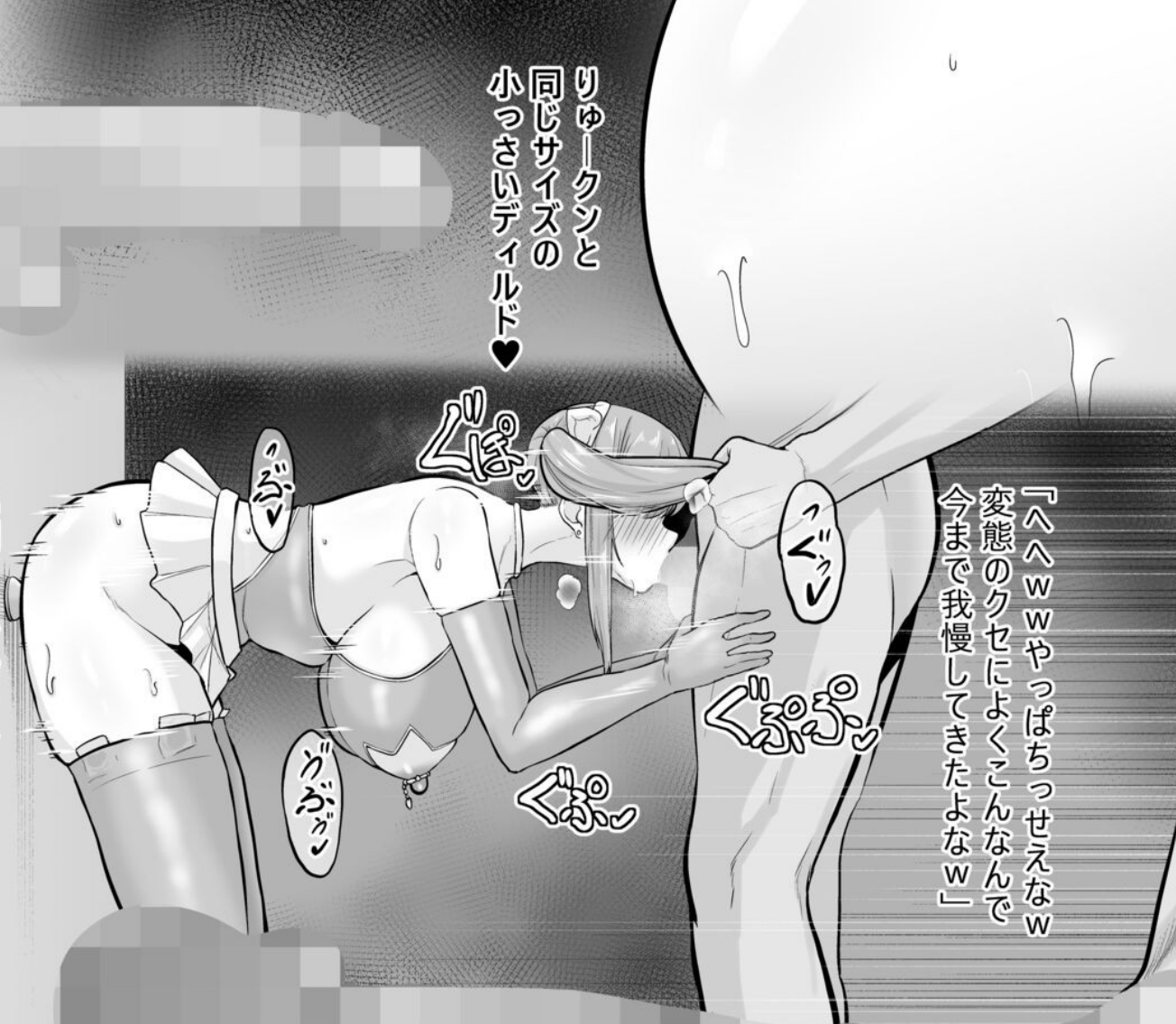
『はい♡勿論です♡』

センパイに命令されて買ってきたのは

「へへwwやっぱちっせえなw
変態のクセによくこんなん
今まで我慢してきたよなw」

りゅークンと
同じサイズの
小っさいデイルド♡

串刺しファックで
りゅークンちんぽと
センパイちんぽを
同時に味わう
おちんちん比べ♡



「おらww聞こえねえぞw
もっと鳴き声上げる」

気持ちいいおちんちんの方で
豚声アピール♡
もちろん勝者はセンパイ♡

何回出してもバッキバキの
センパイチンポで
この後も何度も何度もセックス♡



全体重で
子宮口をえぐられる
正常位も



ぶぶぶぶ

じゅる

びびびび

ツギギム

ねね

じゅる

んがうぐ

じゅる

豚鼻鳴らしながらする
ドスケベベロチューも

女の子のことなんて
何にも考えない
乱暴な立ちバックも

センパイとのセックスは
ぜくぶん大好き♡

それを知れたのも全部

ズン



りゅークンのお陰♥

「ほら豚w

動画撮ってんだから

笑顔でダブルピースだろ？w」

「あっはい♥性欲処理豚ももあ…
今日も元気にセニパイにいっぱい
ドスケベセックスしていただきました♥
ありがとうございます♥」

「へへww彼氏にも
なんか言っちゃれよw」

「りゅークン、ロマンね♥

頑張つてみたけど私やっぱり…

セニパイのこのおちんちんから

離れられないの♥

でもセニパイも

彼氏持ちの女の子の方が

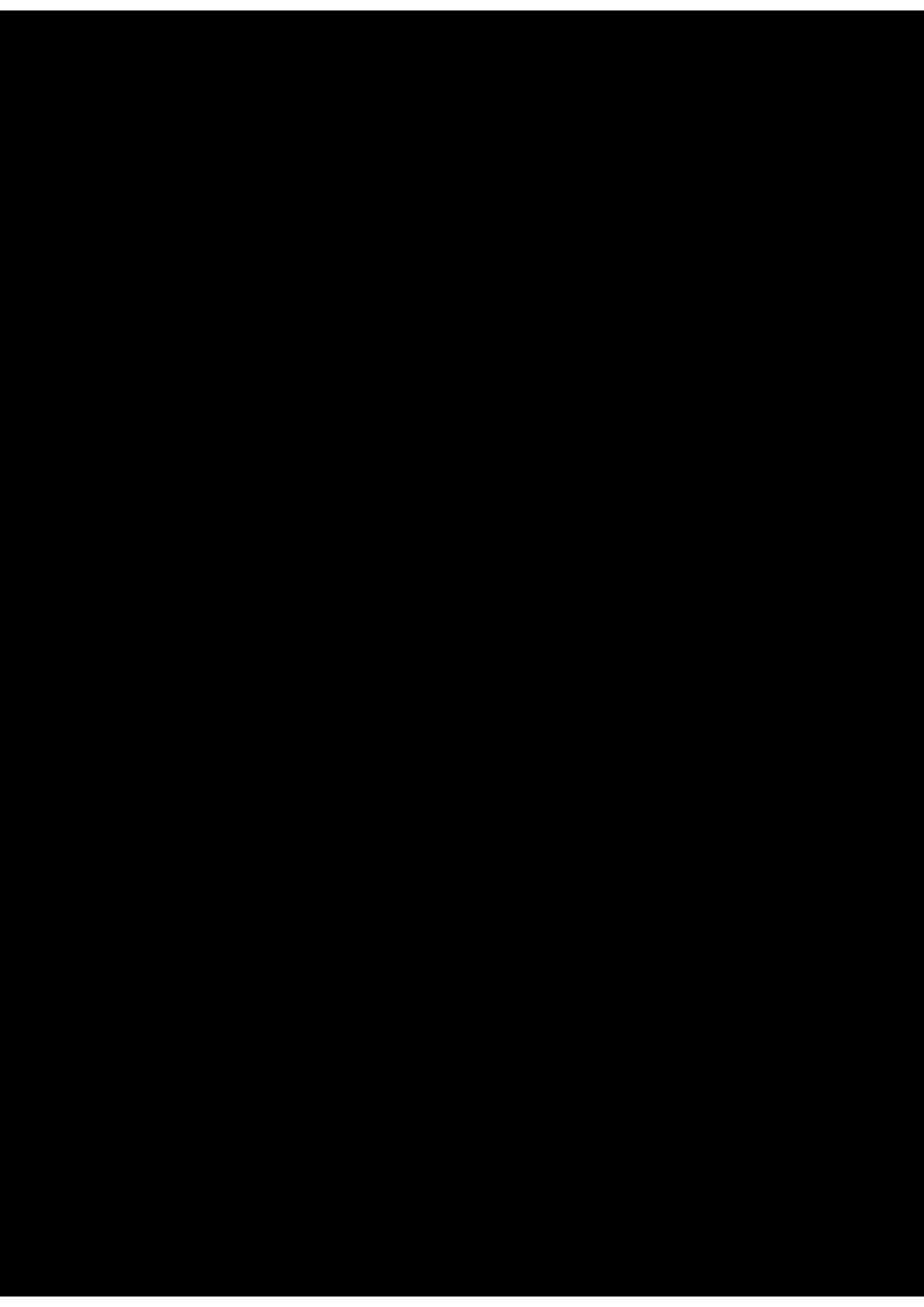
好きだからあ…」

「これからも
引き立て役
でいてね♥」

セニパイ専用

肉便器
日オオV

りゅークンみたいに
優しく…鈍感で…
おちんちんの小さい彼氏が
いなかったら私
セニパイに飼って
もらえなかったから
だからありがとう♥
これからも宜しくね♥
りゅークン♥



【桃太郎風 女侍、鬼退治へイク！】

〈女侍〉

腰に届く長い黒髪、ポニーテール、アホ毛
正義感や使命感が強過ぎる勝ち気な武家の一人娘
100cm越えの爆乳、クビレ、巨尻
着物または袴姿

〈鬼族〉

身長2m越えの巨漢種族
筋肉質、かなりの巨根
精力旺盛、食事と生殖にしか興味がない。
メス鬼は存在しておらず、人間のメスを好んで拐い、種付け交尾する。

〈シナリオ〉

町娘を拐う鬼達を成敗すべく一人で鬼ヶ島へ殴り込んだ女は、鬼達の前で刀を抜き、威勢良く啖呵を切る。「悪鬼ども！お前達の悪行は今日、私が裁く！」しかし、刀は折られ、呆気なく敗北した女は、仰向けカエルの様な姿で白目を剥き、痙攣しながら気絶している。裸に剥かれ、鎖付き首輪をつけられた女は、嫌がり抵抗するが、力任せに押さえ付けられ種付けプレス交尾される。始めこそ声を嘯み殺し耐えていたが、巧みな性技ですぐに弱点を見つけられ、集中的にゴリゴリ擦られ、声を出して感じてしまう。そのまま膣内を蹂躪された女は、生まれて初めての絶頂を味あわされ、中出しされてしまう。しかし、反抗する意思は折れておらず、鬼達を睨みつけるが、その様が逆に鬼達の生殖欲に火をつけてしまい、鬼達は群がり我先にと交尾する。ある鬼は、四つん這いの女の尻を鷲掴みにし、子宮口を亀頭で小突き続ける。歯を喰い縛り、耐えようとするがその表情は明らかに感じている。そのまま中出しされ、絶頂する。別の鬼は女を抱きかかえ駆弁ファックでガン突きピストンをして責め立てる。この頃には声をあげて感じてしまい、まとも中出しされ、絶頂してしまう。更に二人組の鬼にサンドイッチファックで前後の肉穴を挟まれ、強すぎる快感に涙を流して悶え喘いでいる。何度も種付け交尾を繰り返され、人間相手では得られない強すぎる快感と絶頂を味わった女に反抗する気力はなくなり「もう…や…めて…」と泣いて許しを請う。だが鬼達が手に入った大事な繁殖肉袋を手放す訳もなく、その後も代わる代わる種付け交尾が行われ、女はただされるがまま感じ、喘ぎ、絶頂し続けのだった。数週間後、町に現れた女は鬼の肉鎧となって膣内に巨根をねじ込まれ、アへ顔を晒し、精液ボテで絶頂していた。

剣豪少女が鬼に返り討ちにされ孕み袋にされる



投稿日:2023年2月19日

今は昔
穏やかな村に
一人の少女が住んでいた
名をサイカ言い
武家の娘として
生まれた時から
剣の道を究め
誰にも負けない
剣豪へと成長した

「フンっ…また
不甲斐ない雑魚だったか
まったく…非力な癖に
性懲りもなくのこのこと…」

剣豪
サイカ

鬼
村の北東から度々現れては
女子供を攫う彼らに
人々はなす術が無かったが
村で唯一、サイカだけが
屈強な鬼と
渡り合うことができた

長い太刀を携え
鬼達から人々を守るサイカの姿は
村人達の心の支えであった

ある日
村に出た鬼を始末したサイカは
村の人々を不安に陥れる
鬼を根絶やしにしようと
彼らのやってくる
北東へと旅に出た



村から山を2つ超え
辿り着いたのは
海辺に浮かぶ岩礁
鬼達の住処だった

「おうおう…
大勢でお迎えとは
光栄なことだ」

自分たちの
住処に現れた人間に反応し
次々と顔を出してくる鬼達
その大群を前にしても
サイカは物怖じしなかった

何故なら彼女には
生まれた時から培ってきた
剣の教えと
何匹もの鬼を切ってきた
太刀があったからだ

「フンっ…人語も解せぬ
蛮族共めが」

『悪鬼共…お前達の悪行は
今日私が裁く…っ!!』



迂闊な行動だった
サイカは今まで
村に出た鬼を
1匹づつ相手に
していたが
ここは鬼達の本拠地

最初こそ
威勢の良かった
サイカだったが
切っても切っても
次々に現れる鬼達を
捌ききることは出来ず
遂には自慢の太刀を折られ
無様に地面に
突っ伏していた

鬼達は防具がめくれ
露わになった白い肌を見て
本能的に生殖器を膨張させた
太く硬くイボのついたソレを
サイカの女性器に押し当て

ズッポッ

一気に奥まで押し込んだ

サイカは
生まれて初めての刺激に
思わず身をのけぞらせ
目を覚ましたが
強い力と体重で
もう自力では
この交尾の姿勢から
逃れることは出来なかった

アッ
アッ
アッ
アッ

「貴様ら…
絶対に許さんからな…っ!!
まずはその
汚らしいモノから
八つ裂きに…」

どんなに唖声を切っても
彼らからすればサイカは
ただ男性器を
出し入れするための穴
鬼の射精を邪魔しないように
惨めに押さえつけられる
だけだった

グロッ
グロッ
グロッ
グロッ
グロッ
グロッ
グロッ
グロッ
グロッ
グロッ

鬼という種族には雌の個体が存在しないため人間の雌との交配は鬼達にとって逃すことのできない生殖の機会

異種族である人間を確実に孕ませる為精液は非常にとろみを帯びておりより長く人間の膣内に留まる

それでも膣内からあふれ出るほどの精液が一度にサイカの中に流し込まれた

今まで男とまともに性交をもしたことのなかったサイカにとって精力が強く生物としても屈強な鬼によって行われた本能のままの生殖行為は体験したことのない強烈な快楽だった

サイカはただただ鬼達の前で無様に自らの生殖器を晒し絶頂の余韻に浸りながら痙攣することしか出来なかった

その日からサイカは鬼達の子種を膣内で受け止める孕み袋として飼育されることとなった

村に現れるような一匹の鬼の相手ならまだしも

鬼達の住処に自ら乗り込んでしまったがためにサイカは昼夜を問わず性欲に満ちた屈強な鬼達の男根と精液を受け止め続けることになってしまった

ズキ

張形によって
広げられた肛門にも
鬼の男根が
容赦なく挿入された

お

お

お

お

お

お

カク

お

お

お

お

お

『もう...やめてえ...♡』

手足を拘束され

身動きが

一切取れない状況で

前からも後ろからも

肉棒を激しく

打ち付けられるサイカは

もう言葉の通じない相手に

力なく許しを請うことしか

出来なかった

サイカが
鬼退治に発つて数週間後
村は大火に見舞われた
後に伝わる伝承によれば
この大火は
鬼によって引き起こされた
されている

男は殺され
女は次々に鬼によって
攫われて行った

しかしこの大火の夜の詳細は
はっきりとは伝わっていない

オ

オ

オ

オ

オ

オ

オ

なぜなら
この村にはもう
人々を守る者はおらず
村はなす術もないまま
鬼達に蹂躪され
一夜にして滅んだからだ

人々がかつてこの村を守った
勇敢な戦士の
変わり果てた姿を見て
絶望しながら炎に包まれて
行ったという

サイカはこの後
攫われた村の女達と共に
鬼の子供を産む
優秀な孕み袋として飼われ続け
その生涯を終えた

せぶんがー先生の作品は最高です。
どうかリクエストを受けいて頂けると幸いです。

【キャラ設定】

～女の子～(名前を付けて頂けると嬉しいです)
弱小事務所のアイドル(デビュー前の期待の新人)
体格：スレンダー
胸の大きさ：B～Cカップ
性格：まじめ、責任感がある

～男～

外国人の金持ち権力者
ハゲデブマッチョ色黒。金持ちの権力を使ってデビュー前やデビューしたての
アイドルを孕ませるのが趣味の最低な男
自分の子を産んだアイドルが活躍する姿に興奮する。

【シチュエーション】

- ・男はタブレットでアイドル情報を物色中に女の子を一目で気に入り股間を膨らます
- ・ニヤニヤしながら電話をしだし、権力を行使し女の子への支援とホテルで会う契約を結ぶ
- ・女の子は事務所とアイドルグループの仲間のことを思い、男と会うことを承諾
- ・ホテルで密会し行為が始まる
- ・男は好みの女の子孕ませることに鼻息を荒くし、興奮したセリフを連発する
※外国語で女の子には通じていない

【以下セリフや文章だけで構いません】

男「君は選ばれた。今売れているトップアイドルの中にもデビュー前に
俺の子を産んだ子は沢山いる」

FANBOXの「敗戦国のシスター、ゴブリンと結婚させられる。」の中出しシーンで、
「・・・遺伝子を流し込まれて・・・」の表現が好き過ぎます。

今回も中出しで受精したことが分かるような「女の子の卵子と
異国の遺伝子が混ざり合い受精してしまった」的な表現を入れて頂けませんか
でしょうか

- ・女の子は男の子供を孕み、男の国で出産
- ・その後、無事デビューを果たしたが、アイドル活動が軌道に乗ってくる度に
体調不良により休業に入ってしまう、
可愛いのに売れっ子にあと一步のアイドルとなった。(何人も産まされている模様)

細かくて申し訳ありません

描けない内容は省略や変更頂ければと思います
よろしくお願ひします！

弱小プロダクションのアイドルが
金持ち外国人に遊び感覚で孕まされる



投稿日:2023年2月27日

八重嶋マナ

私は八重嶋マナ
アイドルをしています

と言っても
皆が思うような
トップアイドルとは
ちよつと
違うんですけど(笑)

それでも
メンバーの皆と
一緒に頑張る毎日は
とっても楽しいです

夢見たような
大きな会場では
ライブをしたことは
ないけど

それでも
応援してくれる
ファンの人たちがいて
可愛い衣装を着て
歌って踊れて
それだけで
とっても幸せです

でも正直
その時私のいた
アイドルグループは
資金繰りが上手く
いっていなくて
活動はいつも
ギリギリの状態
でした

そんな時
当時の
プロデューサー宛に
海外の有名な芸能事務所の
社長から
投資の話が来たんです
それも
とっても莫大なお金の！

凄く有名な事務所だったし
他のアイドルの子たちも
喜んでその話は受けたんです



新体制になってすぐ
私は
都内の高級ホテルに
呼び出されました

最初は新しい社長に
挨拶に行くだけって
聞かされていて

プロデューサーさんも
一緒だったんですけど

ホテルの入り口で
ここからは一人でつて
スーツの人に
部屋に案内されました

その男にあったのは
それが初めてでした
外国語で何を言っているか
わからなかったけど
後ろにいた
スーツの人たちが
カタコトの日本語で
通訳してくれていました

「君は選ばれた
今売れている
トップアイドルの中にも
デビュー前に
俺の子を産んだ子は
沢山いる」

確かそんなことを
言ってたと思いますけど
よく覚えてません
あまりに脈絡がなかったし
それに私怖かったんです

ギョ...

だってこの人は
私たちグループの
活動を応援してくれる
人だと思ってたから

アハハハ

アハハハ

体も大きいし
コミュニケーションも
取れない男の人と
部屋で二人っきりにされて

とっても怖かったけど…
ここで私が
何か失礼なことをしたら
グループの
他の子たちにも
迷惑がかかっちゃう
かもしれない

ハッ

アハハ

アハハ

私だけ我慢すれば…
この時は
そう思いました

そのまま私は
男の成すがまま
寝室に連れていかれて

人生で初めての夜を
経験しました

初めて受け入れた
男性のソレは…
想像よりずっと大きくて
それに腰を持たれると
力を逃がすことが
出来なくて

男は私の中の
いろんな部位をこすったり
突っついたりして
反応を見ている感じが
しました

私が声をあげると
そこばかり
突き上げてきて
私を感じてるのを見て
楽しんでました

そんなことを
繰り返して
されてるうちに
男は息が荒くなって
腰を動かすペースも
早まってきて

本能で分かりました
男の射精が
近づいているって…でも

男のゴツゴツしたモノで
中をぐちゃぐちゃに
掻き回されて
脳みそが熱くなって
ほーっとするし
全身がビクビク痙攣して
とてもじゃないけど
抵抗できるような
状態じゃありませんでした
意識が飛ばないように
必死に耐えていたら

ビュルルル♡

突然お腹の奥に
熱いものが
流れ込んでくる
感覚に襲われました
初めてだったけど
解りました

私はこの人に
中出しされたんだって

今日会ったばかりの
名前も
どこの国の人間なのかも
わからない男の遺伝子が
奥に流し込まれる感覚

絶対逃げられない体勢で
押さえつけられて
ただただ
男の射精が終わるのを
待つか
できませんでした

←ハッ♡

この時
ハッキリわかりました

この男はこれまでも
いろんな女の子に
いっぱいこうやって
自分の精液を
流し込んできた
『オス』なんだって

男のモノは
一度射精しても
ずっと固いまままで
そのまま続けて
その日は
何度も何度も
中に出されました

その後私は
読めない書類に
サインをさせられ
海外にある
その男の屋敷で
生活すること
になりました





屋敷の中では
毎週男の指定した
服装で
生活しなければ
ならなくて
恥ずかしい部分も
手で隠すのは禁止

お屋敷には
私みたいな女の子が
何人も生活してて
自分の番号が呼ばれたら
すぐに寝室に向いて
生の性行為の相手を
させられます

知らない言葉も
沢山覚えさせられて
男のことは
『旦那様』と呼ぶように
教育されました

旦那様は
本当に精力が強くて
呼び出された日は
何度も何度も
中出しされました

まるで私のことを
射精するための
道具みたいに扱って
私にはお構いなしに
自分が射精できること
最優先の
体位とリズムで
腰を動かして…

でも私は
旦那様の
逞しい肉体に
押しさえつけられて
いつも情けなく
旦那様の身体に
しがみつくとしか
できませんでした

旦那様はとにかく
女の子の身体に
自分の遺伝子を
流し込む行為が
好きみたいです

性行為の他にも
私を縛り付けて
精液が女性器に
吸収されていく所を
私に見せつけたりも
しました

私がそれを見て
抵抗したり
わめいたりすると
旦那様は私が喜んでいと
勘違いして

追加の精液を
何回も何回も
『おかわり』させられ
ちゃいました♥

今では
そんな旦那様の精液を
お口で受け止めるだけでも
ドキドキしちゃいます…♥
だつて

ゴロ

ゴロ

ゴロ

ハァー

ハァー

ハァー

この精液は私に何回でも何人でも子供を仕込めるとっても優秀な遺伝子汁だから♡

私はあの時旦那様に出会えたことをとっても良かったって思ってます♡

おはーい

はあー

はあー

はあー

はあー

はあー

旦那様は妊娠期間中以外はアイドル活動することを応援してくれるんです♡

自分の子供を産む女がアイドル活動している姿が好きみたいなんです♡

勿論ファンの人たちは上手く誤魔化してくれています♡

旦那様の優秀な遺伝子を持った赤ちゃんを産めるから…それだけでもとっても幸せです♡

今は4人目がお腹にいてアイドル活動は出来ないけど

女の子たちを外国人のペットに育てる女子校の話をお願いします。

私立QOS女学園

国際交流を主軸においた進学校。

卒業生の大半は外国で政治家や社長の秘書、
スポーツ選手のトレーナーとして就職できる。

制服は星条旗ビキニ+アメスクで露出度の高いもの(過激な方向になら改造自由)
入学と同時に陰毛を全て剃られその部分に「BBC ONLY」のタトゥーが入れられ、
校章のQOSマークと識別番号がついた首輪をされる。

授業は真っ当にハイレベルなものに加え隣接している外国軍人基地の協力を得て
特別性指導を行う。

成績の悪い生徒は貞操帯を着けられるが、成績上位者は海外留学先を
優先的に選べたり校医に頼めばタトゥーやピアスを安くできる。

2年生になれば学校のスポンサーから指名が入ることもある。

3年生で指名が入らない人はインターンとして各自秘書名義で行う。

話の流れは卒業する生徒代表が講演台でお腹を隠しながら、
プロジェクターの写真を映し、回想を追う形をお願いします。

落ちこぼれだったけど頑張って首席になることができました。という感じのお話。
ラストシーンは講演台の上に登って妊娠したお腹をみんなに見せながら
ガニ股ポーズで卒業宣言。

「お父さん、お母さん、私を産んで育ててくれてありがとうございました。

おかげで私は某国大統領の第7夫人になることができました。

今日で私は人間を卒業します。」みたいなセリフ

代表の子ですがゆるふわウェーブのかかったサイドテールにかなりの
巨乳(ビキニから母乳が滲み出ている)、

妊娠して膨らんだお腹に色々なマークや英語のタトゥーをお願いします。

私立QOS女学園



投稿日:2023年5月28日



QoS…つまり
Queen of Spades とは
黒人男性様に
飼って頂きたい
女の子が集まり
立派なおナペットに
なるべく
毎日ご指導して
頂く学園です



皆様初めまして
私は当学園
卒業生代表の
大導師侑美華と
申します♡
本日は
資料映像と共に
私が在籍
しておりました
【私立QoS学園】の
ご紹介をしたいと思います♡



そんな折
当学園の勧誘を受け
興味を持った私は
思い切って入学することに
致しました



だいこうじ ゆみか
大導師侑美華

この学園に入るまで
私は男性と性的な接点を
持つことが
ありませんでした！
しかし漠然と
昨今の日本人男性に…
不満と言いますか
頼りなさを感じておりました



近年では
萌え文化カワイイ文化の
輸出にともなって
日本人女性を
ペットとして飼うことが
富裕層の黒人男性様の間で
流行しているとのこと
私達日本人女性にとっても
遅く経済的に
余裕があつて
ペニスの大きな
黒人男性様に
飼って頂けるなんて
夢の様なお話です♡
そのため当学園で
女の子たちは
夢に向かって
様々な授業を
こなしていきます



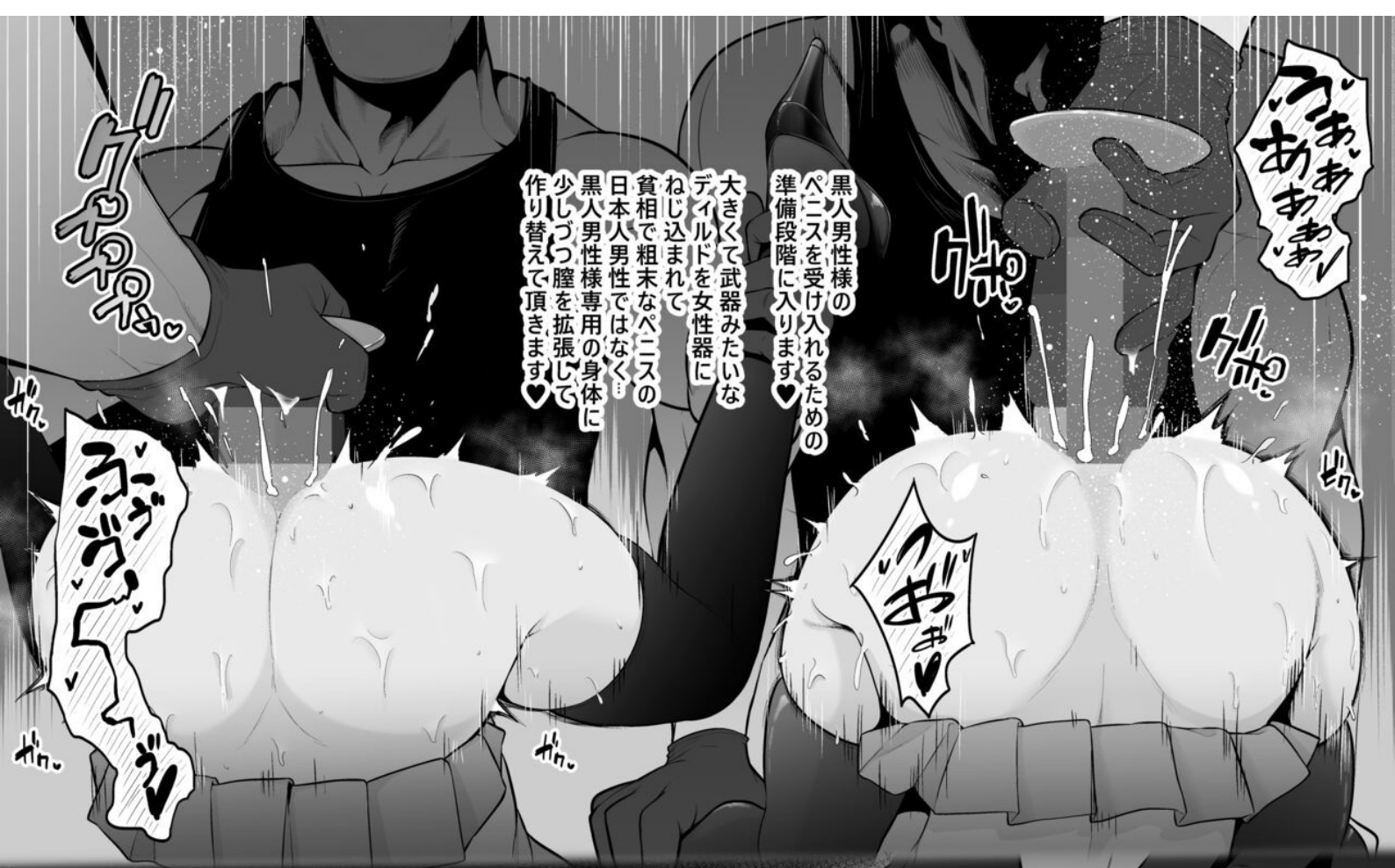
1年次最初の授業では
まず全員が
黒人男性様の手によって
イカされます♡
私達日本人女性の
華奢で小ぶりなおま●こは
黒人男性様の手マンによって
玩具みたいに簡単に
イカされちゃいます♡
黒人男性様を悦ばせる為
によくイクちよろまん
育てていた後は

ふぁあぁあ

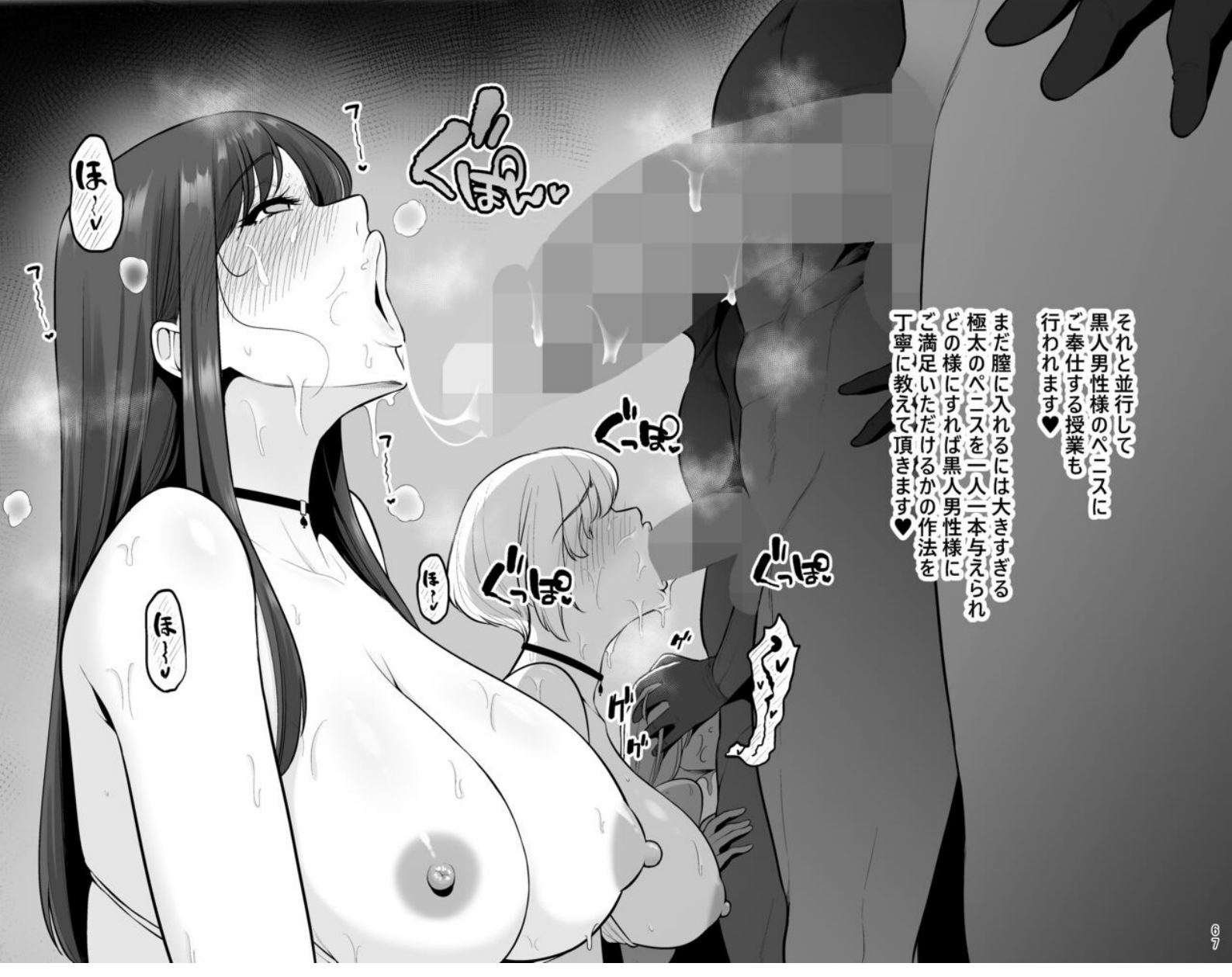
はぁあぁあ

ふぁあぁあ

はぁあぁあ



黒人男性様の
ペニスを受け入れるための
準備段階に入ります♡
大きくて武器みたいな
ディルドを女性器に
ねじ込まれて
貧相で粗末なペニスの
日本人男性ではなく、
黒人男性様専用の身体に
少しづつ膣を拡張して
作り替えて頂きます♡



それと並行して
黒人男性様のペニスに
ご奉仕する授業も
行われます♡
まだ膣に入れるには大きすぎる
極太のペニスを二人二本与えられ
どの様にすれば黒人男性様に
ご満足いただけるかの作法を
丁寧に教えて頂きます♡

2年次になると
いよいよ黒人男性様との
セックスの実践授業です♡

黒人男性様と比べると
私たち日本人女性は
体格が小柄なことが多いため
黒人男性様に合わせた
体位を学んでいきます♡

黒人男性様の
力強いピストンで
日本人男性には
絶対出来ない
男らしいセックスを
毎日叩き込んで
いただきます♡

それと同時に
黒人男性様の
大きなペニスを
全身で受け止めて
射精して頂けるように
しっかりと膣で
締め上げることが
練習します♡

慣れてきたら今度は
騎乗位の授業です♡
いつも私たちに
女性としての悦びを
与えて頂いている
黒人男性様に
自らの女性器を使って
たつぷりと
愛情を表現する授業です♡

でも黒人男性様のペニスは
ゴツゴツととても
大きく大きいので
ご奉仕している私達の方が
逆にアクメを
晒してしまいます♡

このご奉仕騎乗位で
黒人男性様に
気持ちよく射精して
頂くことができれば
いよいよ3年生として
次のステップに
進むことが許されます



3年次には通常授業に加え卒業後飼って頂ける飼主様を見つげるための「交流会」を定期的に行って頂きます♡

ほおおお

おっお

うんうん

交流会にいらっしゃる黒人男性様はスポーツ選手大企業の社長AI、ティスト等皆様女の子を飼う余裕のある方々ばかりです♡
そんな優秀で選ばれしオスである黒人男性様に選んで頂ける様に今まで職員の方々に仕込んでいただいた知識と思い思いの衣装を着て一生懸命全身を使って媚び媚びします♡

特に交流会にいらっしゃる黒人男性様の中にはひと際大きくて立派なペニスをお持ちの方もいらっしゃいます♡
そんな方の所には女の子たちが殺到してしまいます♡
女性として大きなペニスで一生可愛がって頂くことはこの上ない幸せ！メスとしての本能で自然とこうなってしまう♡



中にはあまり媚び媚びするのが得意じゃない子もいます

卒業後の進路が見つからない子は留年になってしまうので

そういう子は拘束具を付けて身動きの取れない状態でオナホみたいに使うって頂いたり



二穴同時挿入などで少しでも黒人男性様に愉しんでいただけるとに工夫したりします♥

度重なるご指導によってもう身体は黒人男性様のペニス無しじゃ生きていけなくなってしまうので

女の子たちは必死になって飼い主様を探します♥

交流会を経て
無事に飼い主様に
見つけて頂けること
専用の首輪を
つけて頂くことに
なります♡
これをしていると
卒業後に飼って頂けることが
決まっていることになるので
皆からとっても
羨ましがられるんです♡
卒業が決まった子は
おそろいの衣装は着る必要はなく
飼い主様の好みに合わせて
乳首に飾りを付けて頂いたり
身体を開発したりして
卒業に備えます♡

中には
「多頭飼」をされる
嬉しい方もいらっしゃる
見せびらかすように
構内を引き回されて
遊んで頂いている
子もいました♡

力強く立派な
黒人男性様に
選んで頂いて
とっても嬉しそうなお顔で
お散歩して頂いてました♡

そして私も
在学中にご主人様に
見つけて頂き

無事妊娠♥
卒業を許可して
頂けました♥♥

卒業後は
ご主人様の第七夫人として
一生ご主人様のペニスに
ご奉仕して！
いっぱいお精子様を搾り取って！
優秀な赤ちゃんを
いっぱい産みたいと
思います♥♥

これをご覧の皆様もお
この学園で精一杯学び
遅く女の子を
いっぱい愛して下さる
黒人男性様に
満足して頂ける
立派なおナペットを
目指してくださいね♥

最後になりましたが！
お父様お母様♥
私を女の子に産んでくれて
本当にありがとうございました♥
これからは
ご主人様のモノとして！
女性として
最高に幸せな人生を送ります♥

ONLY